

2026年2月24日
イオンタウン株式会社
イオンリテール株式会社

イオンタウン岐阜北方 2月21日(土)「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤 久誠）とイオンリテール株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：古澤 康之）は、「イオンタウン岐阜北方」の2026年3月27日（金）のグランドオープンに向けて、2月21日（土）に同敷地内にて「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催いたしました。

「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭は、ショッピングセンター（以下、SC）が緑につつまれ地域環境にとけ込んだ場所になること、さらに緑を育む心が日本全国へ、そして海外へと広がっていくことを願い、新設するSCの敷地内にその地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を地域の皆さまとともに植えて、大切に育てていく活動です。

当日は、北方町長 戸部 哲哉 様をはじめとしたご来賓をお招きし、近隣にお住いの皆さまや専門店従業員など約250名の方々のご参加のもと、北方町の木であるモチノキやナンテン、アラカシなど、地域に自生する樹木を中心に、計40種約2,000本を植樹いたしました。



イオンタウン岐阜北方 植樹祭の様子

植樹祭概要

1. 日程 : 2026年2月21日(土)
2. 場所 : イオンタウン岐阜北方 敷地内
(住所 : 岐阜県本巣郡北方町曲路東三丁目1-1)
3. 時間 : 10:00~12:00
4. ご来賓 : 北方町 町長 戸部 哲哉 様
北方町商工会 会長 木野村 文男 様
北方町曲路自治会 自治会長 松原 孝明 様
株式会社カインズ 開発本部 本部長 小玉 毅 様
5. 主催 : イオン株式会社、イオンタウン株式会社、イオンリテール株式会社
6. 植樹祭における植樹本数 : 約2,000本
(専門業者による植樹を含めた総植樹本数 : 約10,440本)
7. 植樹祭における植樹種類 : モチノキやナンテン、アラカシなど計40種

ご参考

イオンふるさとの森づくり

「ふるさとの木」の植樹による「イオンふるさとの森づくり」は、1991年にイオンマレーシアのマラッカ店(マレーシア)からはじまり、国内では1992年4月にジャスコ新久居店(三重県)で最初に実施しています。以来今日まで継続しており、本年度には、「イオンふるさとの森づくり」と公益財団法人イオン環境財団による植樹を通じて植えた木々は合計1,276万本(2025年2月末)を超えています。イオンは、地域の一員として緑あふれる街づくりに貢献するため、これからも木を植えてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。

